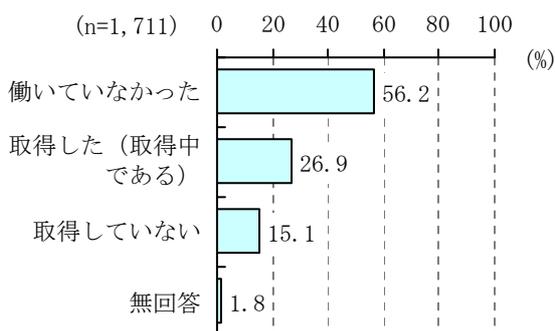


12. 仕事と子育ての両立支援制度の利用状況について

(1) 保護者の育児休業取得状況

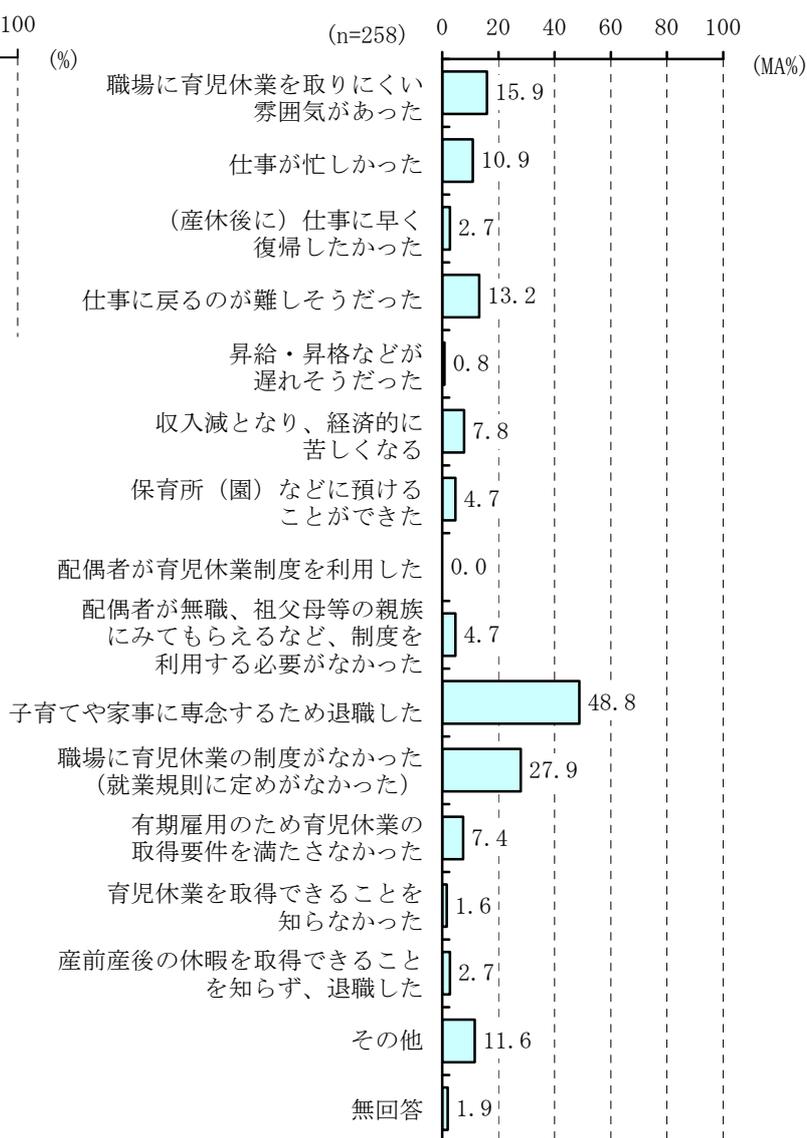
問30 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。【母親、父親それぞれに○は1つだけ】また、「3. 取得していない」に○をした方はその理由を1～15より選び、口内に番号をご記入ください。

【母親の育児休業取得状況】



【母親が育児休業を取得しなかった理由】

※母親が育児休業を取得しなかった人

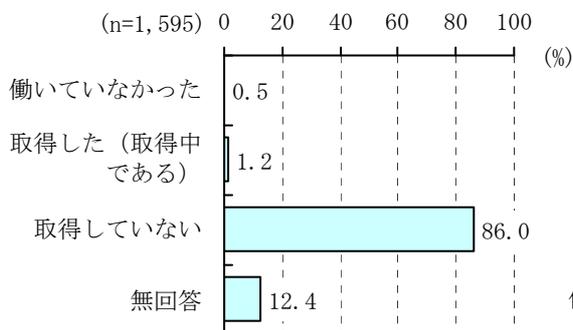


母親の育児休業取得状況をみると、「働いていなかった」が56.2%で最も高く、次いで「取得した(取得中である)」(26.9%)、「取得していない」(15.1%)の順となっている。

母親が育児休業を取得しなかった理由をみると、「子育てや家事に専念するために退職した」が48.8%で最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」(27.9%)の順となっている。

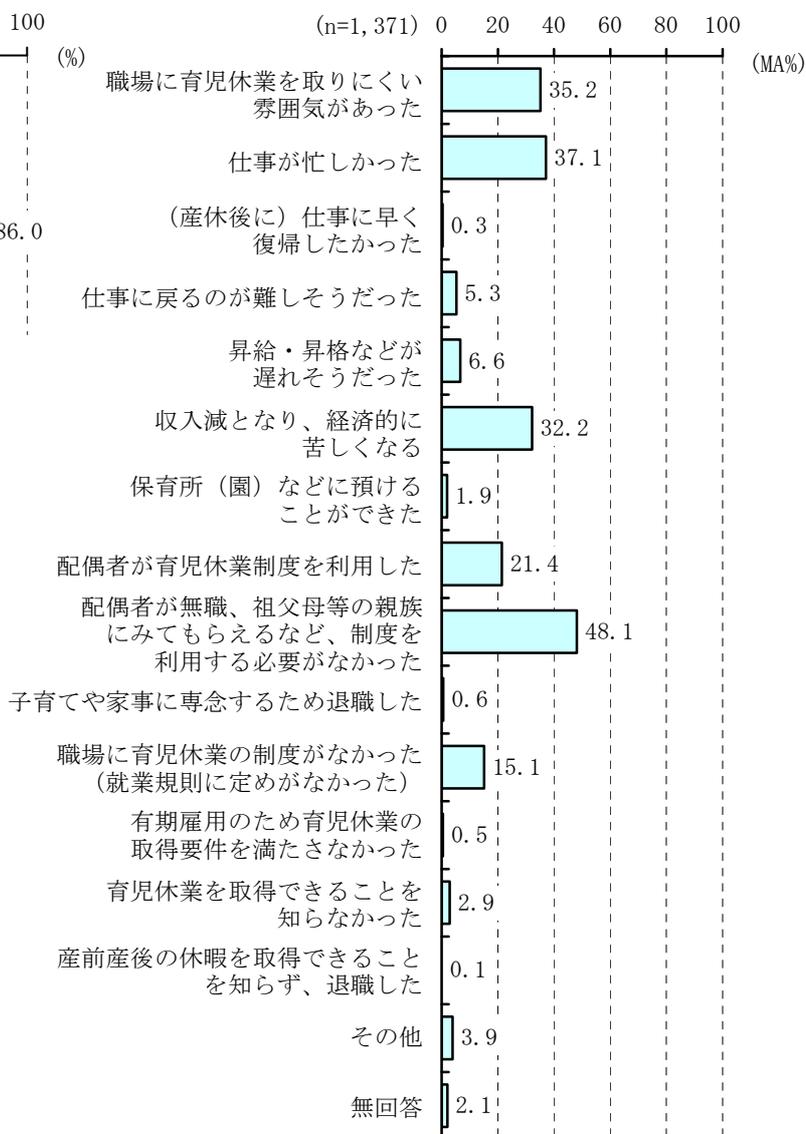
| 順位 | 問 30（母親） その他の内容 | 件数 |
|----|------------------------|----|
| 1 | パート勤務の為、育児休業は取得できなかった | 5 |
| 2 | 自営のため | 4 |
| 3 | 出産を理由に解雇された、退職するよう促された | 2 |
| 4 | 復帰予定が未定なため | 1 |
| 4 | 会社から取得を断われた | 1 |
| 4 | 配偶者に休まないで就労するよう言われた | 1 |
| 4 | 有期契約のため、そのまま契約満了となった | 1 |
| 4 | 職業柄、辞めざるを得なかった | 1 |

【父親の育児休業取得状況】



【父親が育児休業を取得しなかった理由】

※父親が育児休業を取得しなかった人



父親の育児休業取得状況を見ると、「取得していない」が86.0%と大半を占めている。

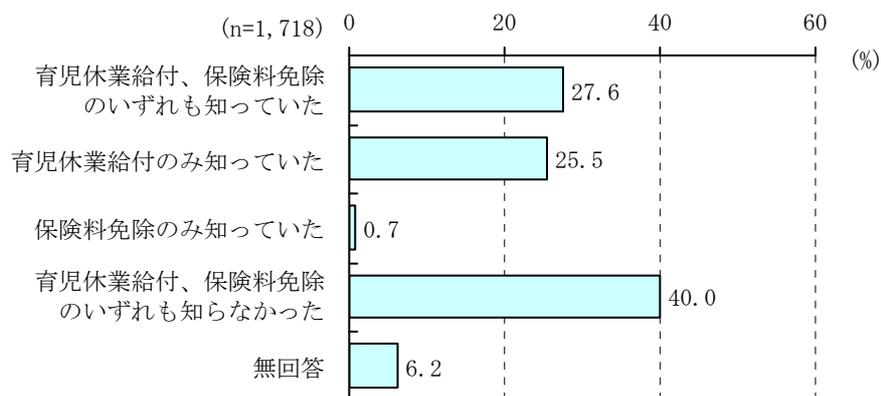
父親が育児休業を取得しなかった理由をみると、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が48.1%で最も高く、次いで「仕事が忙しかった」(37.1%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(35.2%)の順となっている。

| 順位 | 問 30（父親） その他の内容 | 件数 |
|----|----------------------------|----|
| 1 | 自営業のため | 16 |
| 2 | 必要を感じなかった、取る気がなかった | 6 |
| 3 | 前例がない | 4 |
| 4 | 会社の休みがとれない | 3 |
| 5 | 有給休暇で処理した | 2 |
| 5 | 週の半分が休みのため夫婦で協力できた | 2 |
| 5 | 理由はとくにない | 2 |
| 5 | 男性が育児休業を取ることは思いもしなかった | 2 |
| 9 | 育児休暇がなく、会社に戻る事が嫌で退職した | 1 |
| 9 | 夫婦ともにとることができなかった | 1 |
| 9 | 育児休業をとったとしても、父親の育児は不安があるから | 1 |

(2) 育児休業中の育児休業給付、保険料免除に対する認知度

問30-1 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等の期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。【○は1つだけ】

【育児休業中の育児休業給付、保険料免除に対する認知度】



育児休業中の育児休業給付、保険料免除に対する認知度をみると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が40.0%で最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」(27.6%)、「育児休業給付のみ知っていた」(25.5%)の順となっている。

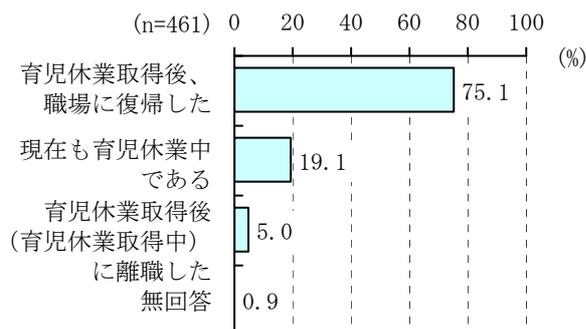
(3) 保護者の職場復帰状況

問30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。【○は1つだけ】

問30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。【○は1つだけ】

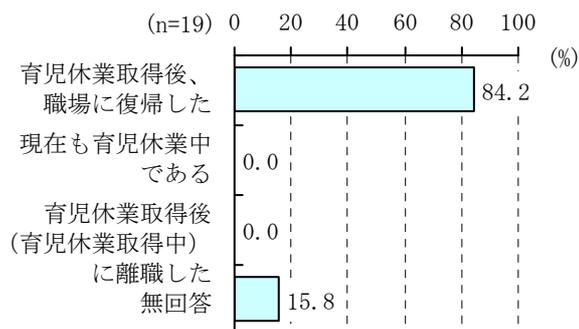
【母親の職場復帰状況】

※母親が育児休業を取得した（取得中である）人



【父親の職場復帰状況】

※父親が育児休業を取得した（取得中である）人

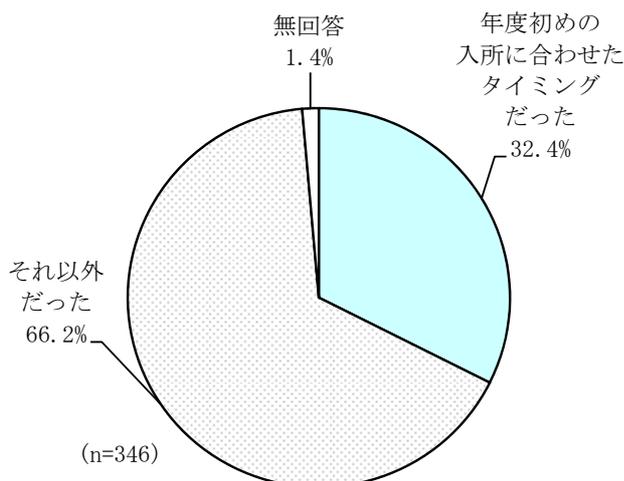


母親の職場復帰状況をみると、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 75.1%で最も高く、次いで「現在も育児休業中である」(19.1%)の順となっている。

父親の職場復帰状況をみると、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 84.2%と大半を占めている。

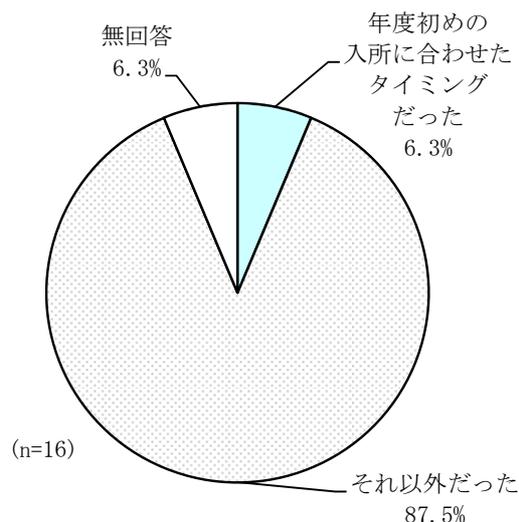
【母親の職場復帰のタイミング】

※母親が育児休業取得後に職場復帰した人



【父親の職場復帰のタイミング】

※父親が育児休業取得後に職場復帰した人



母親の職場復帰のタイミングをみると、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 32.4%、「それ以外だった」が 66.2%となっている。

父親の職場復帰のタイミングをみると、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 6.3%、「それ以外だった」が 87.5%となっている。

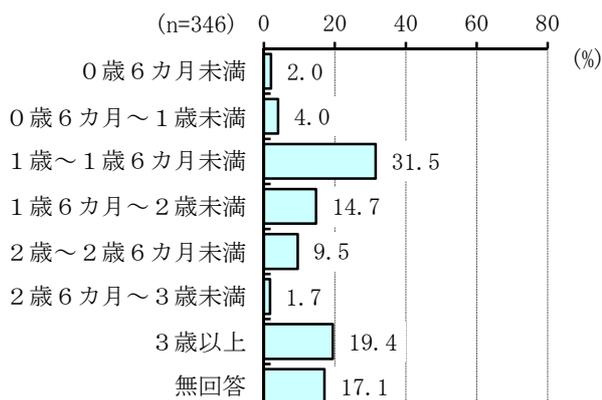
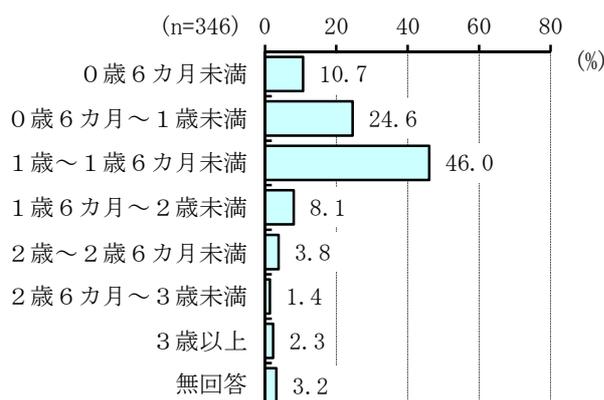
(4) 育児休業取得期間（実際と希望）

問30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。
また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

【母親の実際の育児休業取得期間】

【母親の希望の育児休業取得期間】

※母親が育児休業取得後に職場復帰した人



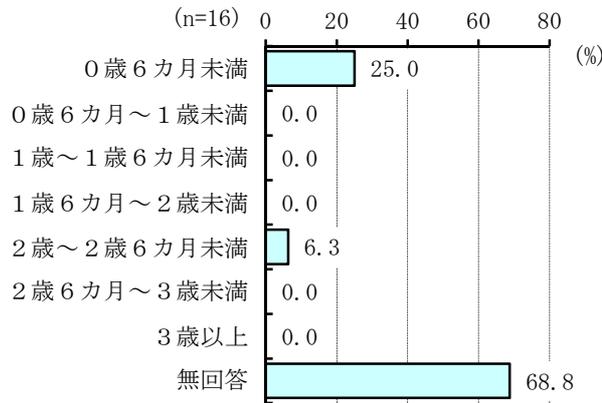
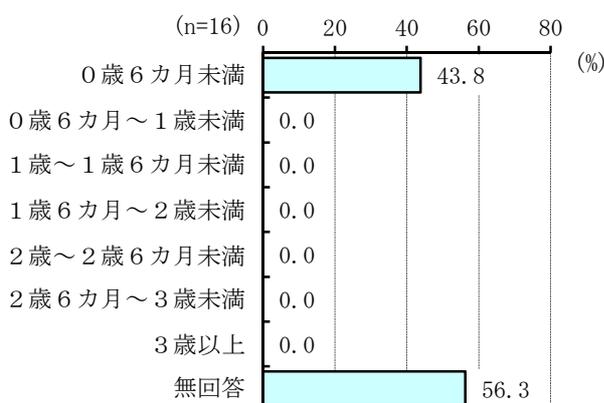
母親の実際の育児休業取得期間をみると、「1歳～1歳6カ月未満」が46.0%で最も高く、次いで「0歳6カ月～1歳未満」(24.6%)の順となっている。

母親の希望の育児休業取得期間をみると、「1歳～1歳6カ月未満」が31.5%で最も高く、次いで「3歳以上」(19.4%)、「1歳6カ月～2歳未満」(14.7%)の順となっている。

【父親の実際の育児休業取得期間】

【父親の希望の育児休業取得期間】

※父親が育児休業取得後に職場復帰した人



父親の実際の育児休業取得期間をみると、「0歳6カ月未満」が43.8%で、残りは無回答となっている。

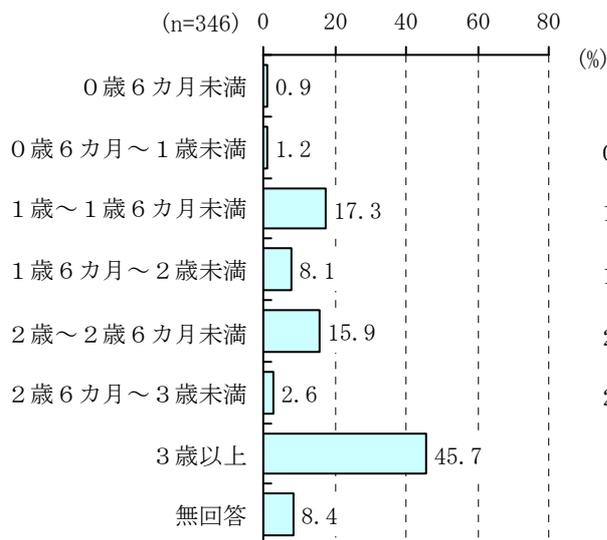
父親の希望の育児休業取得期間をみると、「0歳6カ月未満」が25.0%で最も高く、次いで「2歳～2歳6カ月未満」(6.3%)の順となっている。

(5) 3歳まで育児休業が取得できる場合、いつまで取得したいか

問30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

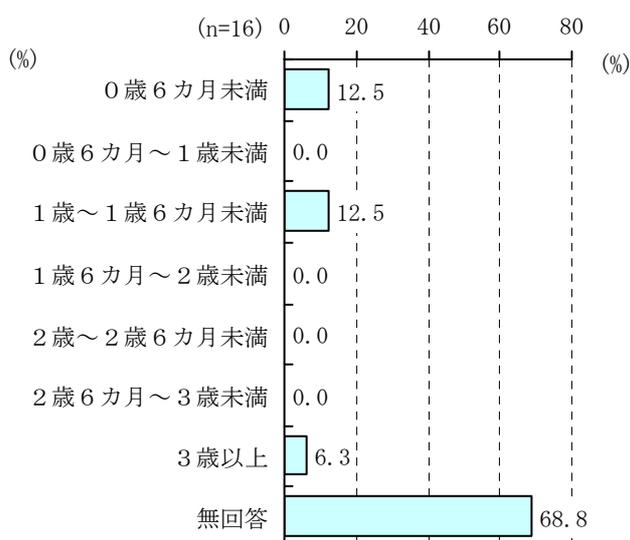
【母親が希望する育児休業取得期間】

※母親が育児休業取得後に職場復帰した人



【父親が希望する育児休業取得期間】

※父親が育児休業取得後に職場復帰した人

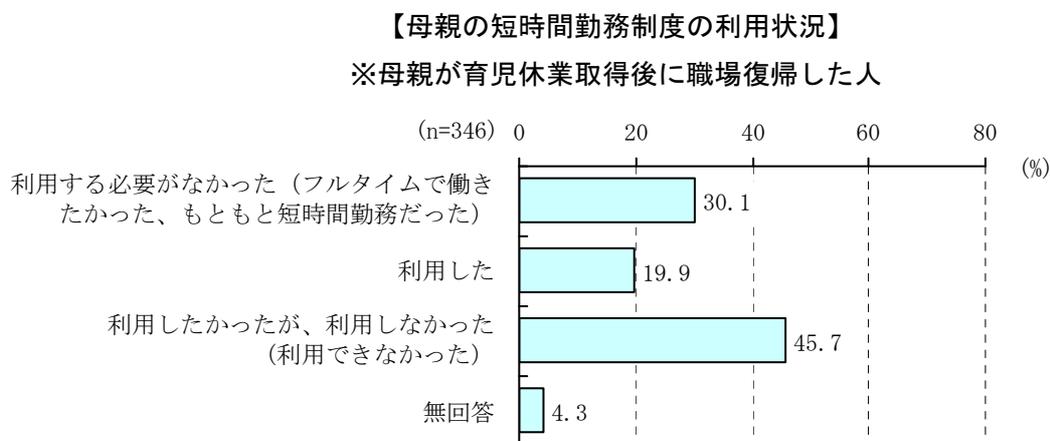


3歳まで育児休業が取得できる場合の母親が希望する育児休業取得期間をみると、「3歳以上」が45.7%で最も高く、次いで「1歳～1歳6カ月未満」(17.3%)、「2歳～2歳6カ月未満」(15.9%)の順となっている。

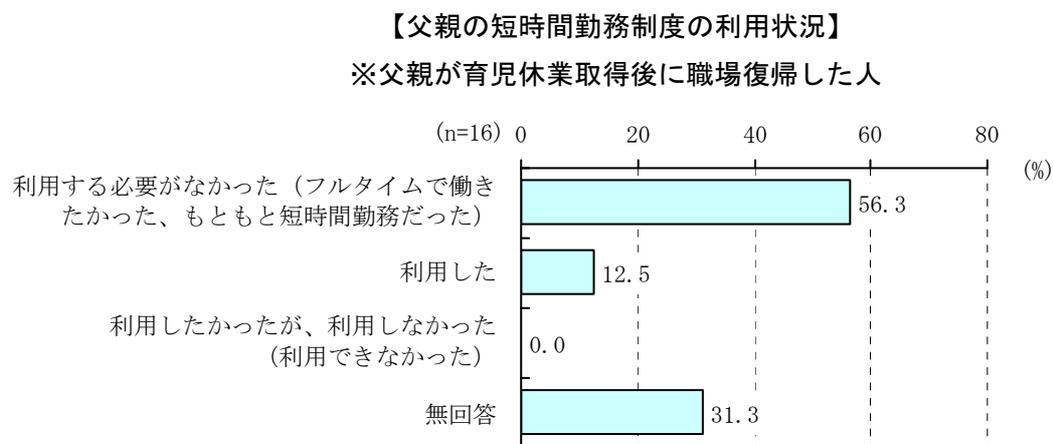
3歳まで育児休業が取得できる場合の父親が希望する育児休業取得期間をみると、「0歳6カ月未満」および「1歳～1歳6カ月未満」が12.5%で最も高くなっている。

(6) 短時間勤務制度の利用状況

問30-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。【○は1つだけ】



母親の短時間勤務制度の利用状況を見ると、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が45.7%で最も高く、次いで「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」（30.1%）、「利用した」（19.9%）の順となっている。

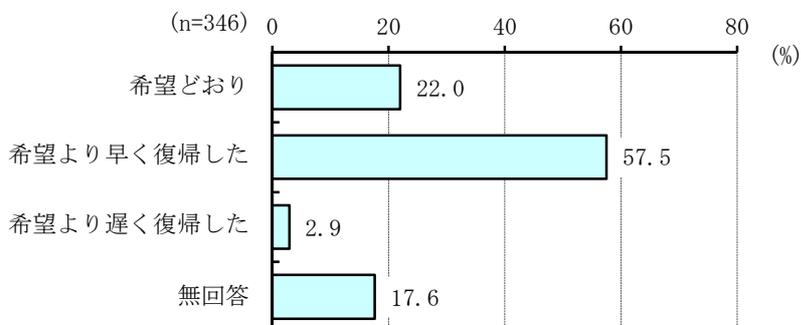


父親の短時間勤務制度の利用状況を見ると、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が56.3%で最も高く、次いで「利用した」（12.5%）の順となっている。

(7) 育児休業後、希望の時期に職場復帰しなかった理由

問30-7 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

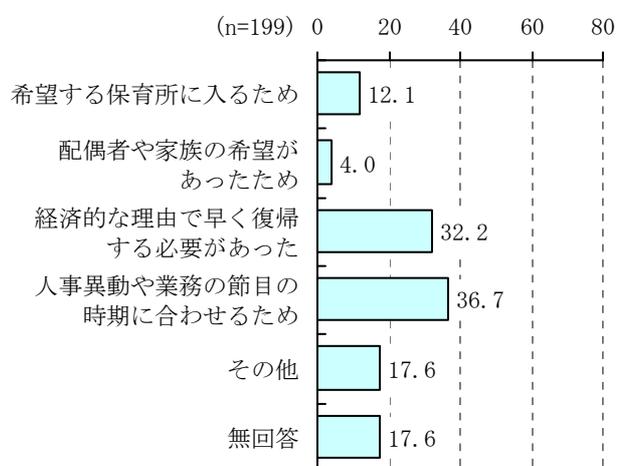
【母親は育児休業を希望どおりに取得できたか】



母親は育児休業を希望どおりに取得できたかをみると、「希望より早く復帰した」が 57.5%で最も高く、次いで「希望どおり」(22.0%)の順となっている。

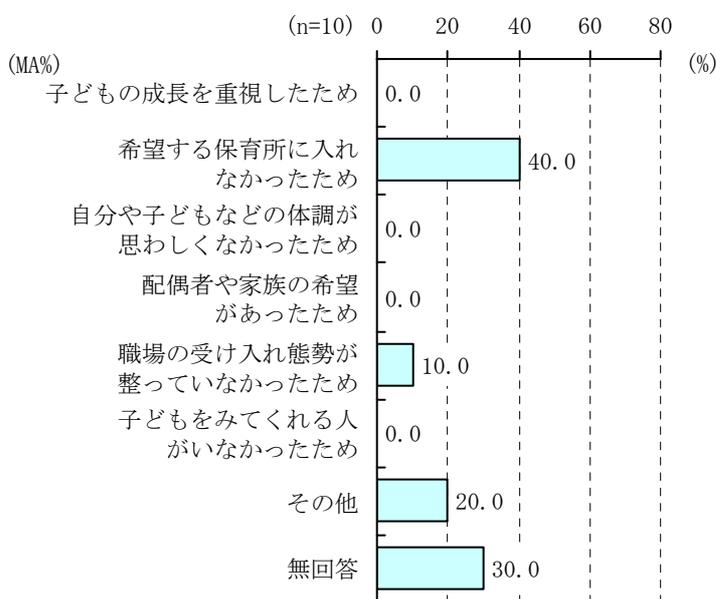
【母親が希望より早く職場復帰した理由】

※母親が希望より早く職場復帰した人



【母親が希望より遅く職場復帰した理由】

※母親が希望より遅く職場復帰した人



母親が希望より早く職場復帰した理由をみると、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 36.7%で最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」(32.2%)の順となっている。

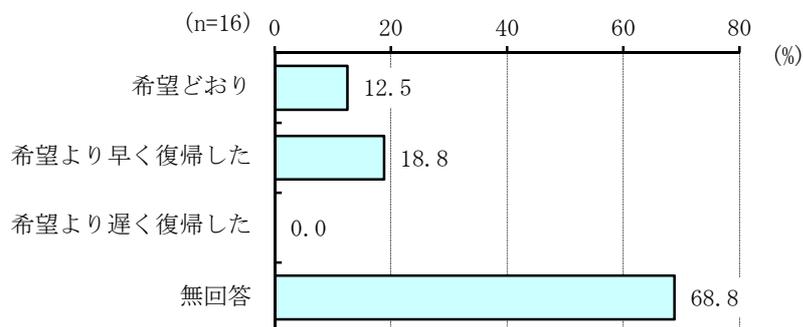
母親が希望より遅く職場復帰した理由をみると、「希望する保育所に入れなかったため」が 40.0%で最も高くなっている。

II 調査結果・就学前児童

| 順位 | 問 30-7 (母親・希望より早く復帰した理由) その他の内容 | 件数 |
|----|---------------------------------|----|
| 1 | 会社からの要請 | 6 |
| 2 | 取得期間が決まっていたため | 5 |
| 3 | 自営業のため | 3 |
| 3 | 職場や同僚に迷惑がかかると思った | 3 |
| 5 | 仕事が忙しかった | 2 |
| 5 | 長く休めないと思った | 2 |
| 5 | 本人の希望 | 2 |
| 5 | 早く復帰しないと評価が下がる | 2 |
| 5 | 介護の必要が無くなったため | 2 |
| 5 | 職場の人員不足のため | 2 |
| 11 | 希望したが受け入れてもらえなかった | 1 |

| 順位 | 問 30-7 (母親・希望より遅く復帰した理由) その他の内容 | 件数 |
|----|---------------------------------|----|
| 1 | 保育園の入所の連絡が復帰希望日に間に合わなかった | 1 |
| 1 | 子どもに病気があった | 1 |

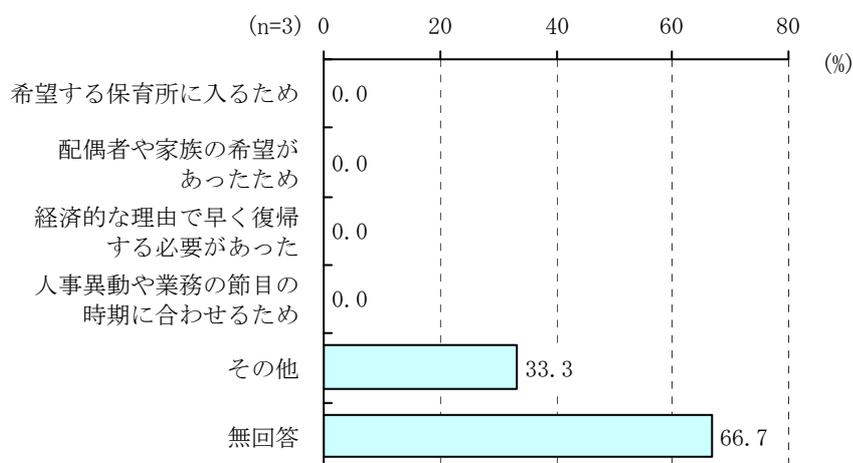
【父親は育児休業を希望どおりに取得できたか】



父親は育児休業を希望どおりに取得できたかをみると、「希望より早く復帰した」が 18.8%で最も高く、次いで「希望どおり」(12.5%)の順となっている。

【父親が希望より早く職場復帰した理由】

※父親が希望より早く職場復帰した人



父親が希望より早く職場復帰した理由をみると、「その他」が 33.3%となっている。

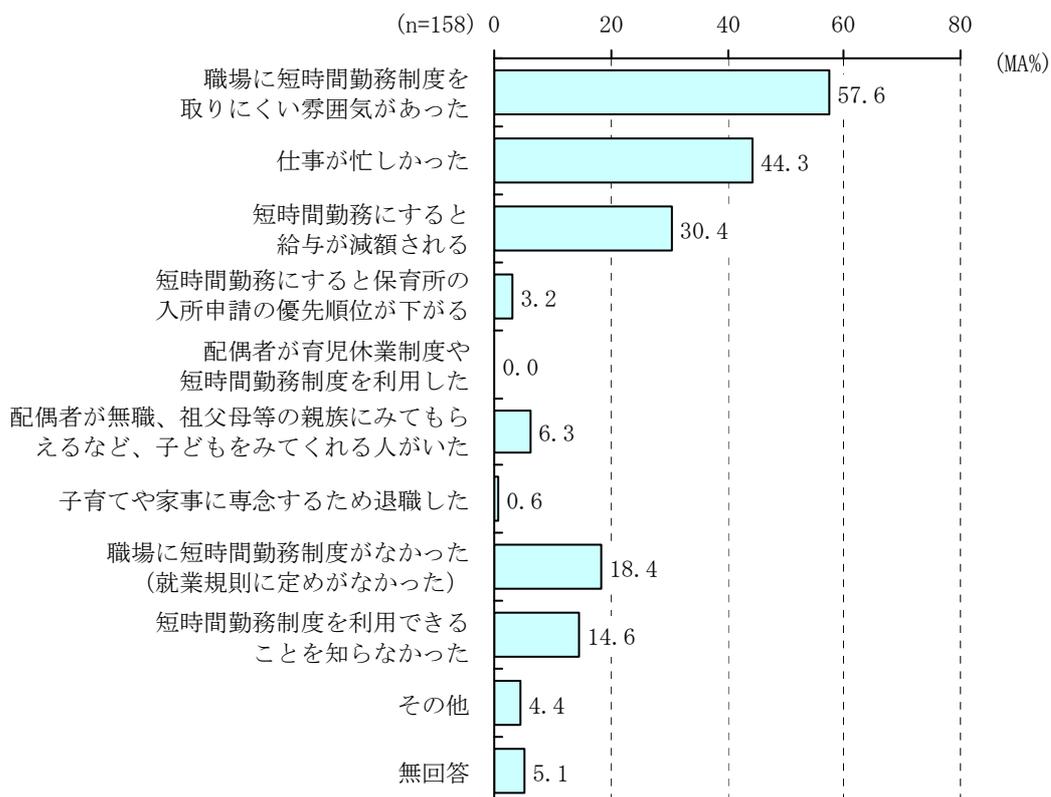
| 順位 | 問 30-7 (父親・希望より早く復帰した理由) その他の内容 | 件数 |
|----|---------------------------------|----|
| 1 | 職場の制度や、同僚、復帰後の自分の仕事への負担を考えたから | 1 |

(8) 短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由

問30-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。
【○はあてはまるものすべて】

【母親が短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由】

※母親が短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）人



母親が短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由をみると、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 57.6%で最も高く、次いで「仕事が忙しかった」（44.3%）、「短時間勤務にすると給与が減額される」（30.4%）の順となっている。

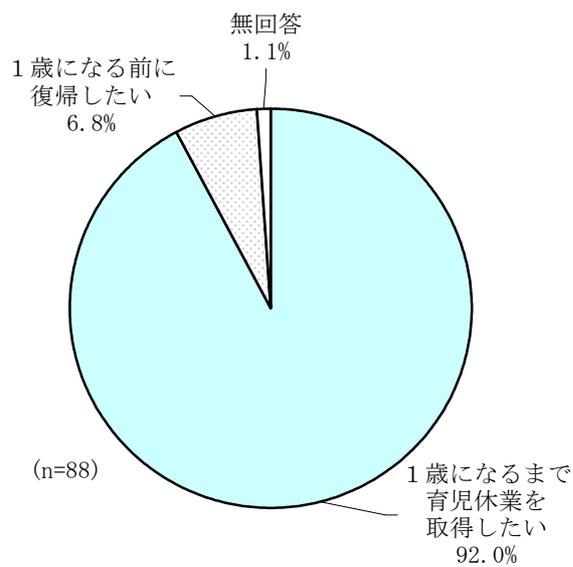
| 順位 | 問30-8（母親） その他の内容 | 件数 |
|----|-----------------------|----|
| 1 | 希望したが受け入れてもらえなかった | 2 |
| 2 | 職場での制度がなかった | 1 |
| 2 | 子どもが1才を過ぎていたので利用しなかった | 1 |
| 2 | 勤務場所を移動させられるため | 1 |
| 2 | 短時間勤務にすると評価が下がる | 1 |
| 2 | 利用しなくても定時退勤ができた | 1 |

(9) 1歳で必ず事業が利用できる場合の育児休業取得希望

問30-9 あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。【〇は1つだけ】

【1歳で必ず事業が利用できる場合の母親の育児休業取得希望】

※母親が現在も育児休業中の人



1歳で必ず事業が利用できる場合の母親の育児休業取得希望をみると、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が92.0%と大半を占め、「1歳になる前に復帰したい」が6.8%となっている。